

情報管理班

ホストコンピュータ、PC、プリンタ等周辺機器から、庁内LAN回線等ネットワーク設備までの、仙台市ガス局全体の情報システムの保全・復旧、および特命事項に関することを任務とした。

マシン室のホストコンピュータおよびサーバを含むネットワーク機器は免震装置上に設置されていたこともあり、被害は全く発生しなかった。

停電で電力会社からの給電が途絶えたが、非常用ガス自家発電装置からの電気の供給により、震災直後でもオンラインシステムやサーバによる各種システムは正常に稼動していた。

庁内LANによるインターネットは、局内のネットワーク装置に被害はなかったものの本庁とのネットワーク回線が不通になったことによって、インターネットの利用がシステム管理課の確認用予備回線だけになるという、非常に制限された状態となった。

幸町庁舎内では落下して故障した端末が8台、プリンタが5台あった。しかし、各階のフロアごとに設置されているネットワーク装置(スイッチ)は簡易ラックに設置されていたにもかかわらず、全台正常に稼動していた。

各パソコンのデータはすべてサーバ側に格納されていた。揺れによるサーバのディスク破損が原因となる障害等が発生しなかったことに加え、局内ネットワークケーブルの断線も全く起きなかったため、幸町庁舎の被害は地震の規模からすると最小限だった。

泉と南の両営業所等の外部拠点は回線が不通となったことにより一切の業務システムが使用できなくなったが、端末、プリンタ、ネットワーク装置等の機器には被害は発生しなかった。

港工場に設置されていた22台の端末やネットワーク機器は、津波のため流出し、マウスやキーボードなど一部の付属品を除き全機回収できたもののすべて修理が不可能な状態だった。

全体的に見て、情報機器の地震対策は一定の成果を発揮した。情報システムが非常用ガス自家発電装置と

ともに健全性を保たれていたことが、震災直後から閉鎖性をはじめとする復旧活動を迅速に展開できた要因の一つといえよう。

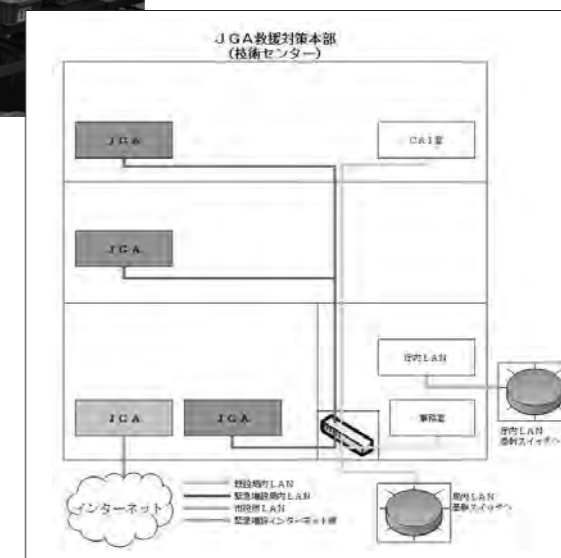
■復旧のあゆみ

- 【3月11日】** 庁内LAN不通
マシン室内および庁舎内の情報機器・ネットワーク機器の物理的障害の調査
ホストシステム・サーバシステムの稼働確認
マシン室の空調停止、外気にて温度調整
訪問カード出力準備開始
19時00分、E2地区の訪問カード1,834件を出力
- 【3月12日】** 訪問カード用コピー用紙調達
災害対策本部にA3スキャナ1台、庁内LAN1台設置
カット紙プリンタ用トナーを水道局から借用
- 【3月15日】** 11時00分、マシン室の空調回復
- 【3月17日】** 技術センター3階にPC5台、モノクロレーザープリンタ1台設置
17時00分、訪問カード出力終了
- 【3月18日】** 訪問カード閉栓データ入力作業開始
夜間のオンライン停止時間を22時に変更(5月8日まで)
- 【3月22日】** 東庁舎2階会議室にPC10台設置(夜間受付用)
- 【3月23日】** 夜間電話対応応援業務開始
- 【3月24日】** 技術センターにPC6台設置
お客さまセンターにPC10台移設(夜間受付用)
幸町庁舎地下の港工場仮事務所にPC1台、モノクロレーザープリンタ1台設置
- 【3月26日】** 訪問カード閉栓データ入力作業開始
- 【3月29日】** 港工場仮事務所にノートPC2台をインターネット用として仮設置
- 【4月1日】** 西庁舎入り口にPC2台、モノクロレーザープリンタ1台設置(臨時窓口用)
- 【4月8日】** 余震にて供給停止した3ブロックの訪問カード出力
- 【6月23日】** 港工場仮事務所にPCを設置し、ガス局業務ネットワークに接続

■JGA救援対策本部



▲技術センターに置かれたJGA救援対策本部にもネットワークが敷設されて、復旧活動に大きな威力を発揮した。



■マシン室ホストサーバ



▲免震や転倒防止措置などの地震対策が功を奏して、ホストサーバなど主要設備は無傷。復旧活動の迅速な再開に貢献した。

▶扉が開いただけで激しい揺れにも耐えたLANラック。

■工場端末機



▲港工場の情報機器はすべて、津波による浸水で使用できなくなった。